

**事業所名** グループホームひなぎく  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年 3月31日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A: 現職 高等学校非常勤講師  
資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター  
B: 現職 社会福祉法人生活指導員  
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・ 福田地域の高台に建つグループホームで、ホームまでの整備された道路脇には桜並木が続く。周辺は、自然の木々や農家の風景が四季折々の変化を見せてくれる落ち着いた環境である。眼下には、近隣の町並みや水島工業地帯が見下ろせる。
- ・ サービスの質の向上を目指し、色々な視点で評価を受けてみたいとの思いがあり、外部評価の事業所(評価機関)も変えてみている。外部評価で得られた結果について、「要改善」が無くとも甘んじることなく、運営推進会議の中でさらに家族を含めた参加者からも意見を出し合ってもらい検討するなど、質の高い取り組みをしている。
- ・ 病院から施設への中で生活できる場所をとの思いから設立されたホームで、入居後も医療面について安心が得られる。協力病院の看護師や、看護師免許を持つ介護職員から、入居者の状態に必要な知識の指導を受けたり勉強会を開催したりして、入居者の異常の早期発見や重症化を防ぐ取り組みをしている。
- ・ 設立にあたっては地域住民との話し合いも行われ、日常的に地域住民と意見交換しながら改善したり、協力し合っており、良い関係が持たれている。地域の行事に参加したり、グループホームの行事に参加してもらって交流を図っている。
- ・ グループホーム内は日当たりがよく、居室は全室南向きで、明るい。掃除が行き届いており、清潔に配慮していることがうかがえる。
- ・ 毎日の申し送りでは、入居者のことについて細かな意見交換が活発に行われており、計画の見直しはすべての職員が意見を出せるような体系が作られている。職員間で情報が共有しやすいように書類が改良されている。各種書類は記録も詳細で丁寧である。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

特に改善の余地があると思われる点はなかった。

- ・ 入居者の自由を尊重した生活支援を大切に考えているグループホームであり、一人ひとりが自分のスペースで生活していることがうかがえる。加齢に伴い、他者からの積極的な働きかけがなされなければ意欲や身体機能も低下していく可能性もあり、その点にも配慮した、根気強い、工夫を凝らした声かけができていたと感じた。さらに、意欲や身体機能の維持・向上に向けて取り組んでいかれることを期待する。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員は、入居者の尊厳を守っていくことをしっかりわきまえ、「なれ合いに配りすぎないよに」ということを心がけている。特に、言葉づかい、呼称には配慮している。</li> <li>・ 入居者と職員の関係はもちろんのこと、入居者の家族ともより良い信頼関係を作っていくことを目指し、コミュニケーションを図っている。</li> <li>・ 家族の延長として、グループホーム内でも入居者の意思を尊重した自由な暮らしを送れるよう支援している。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帰宅願望があって落ち着かない時には、作業を勧めたり入浴を勧めたりして気分転換を図っている。外に出たい方には買い物やドライブなどに誘うこともあるが、状況によってはかえって混乱することもあるため、その時々で対応を工夫している。</li> <li>・ 不安や人恋しくて落ち着かない場合には、職員は入居者のそばに寄り添って話を聴いたり、テレビの内容や新聞の話題などについて話をしながら一緒に過ごしている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のベースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活歴などから、入居者一人ひとりが取り組みそうなことに配慮し、力が発揮できるよう工夫をして支援している。</li> <li>・ 新聞を居室に持ち込んで読む方や、人形作り・造花作りが趣味の方など、それぞれが好きなおことに取り組めるよう見守りながら支援している。自分で荷造りをして針を使う方があり、職員が本数を把握するなどの配慮をしながら持っていたらいい。</li> <li>・ プライバシー保護のため、居室入口には原則的には氏名ではなく、花の名前や分かりやすい目印をつけている。目印では分かりにくい方に対しては、必要に応じて氏名を記入している。</li> <li>・ 居室訪問時にはノックや声かけをしてから入室するようにしており、プライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。</li> <li>・ 排泄に関する言葉かけは、入居者の傍で小声できるように配慮している。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビヤリハット、警報報告書があり、発生した時にはカンファレンスを開催して話し合い、発生の防止、再発の防止に努めている。</li> <li>・ 研修には、全ての職員が年1回以上は参加できるように配慮している。参加後は報告書を提出し、情報の共有を図っている。報告書は、分かりやすく丁寧に書かれている。</li> <li>・ 法人内では、年間3~4回勉強会を開催し、接遇研修や医療指導などで職員のスキルアップを図って、サービスの質の向上に努めている。外部からも講師を招いている。</li> </ul>		